

# エゾモモンガ



## 動物のかいせつ

分類 ネズミ りすか

サイズ 体 15 ~ 16 cm 尾羽 10 ~ 12 cm 体重 100 ~ 120 g

寿命 4 ~ 5 ねん 生息地 北海道

平地から山地の森林に生息し、活動時間は夜です。樹上で生活し、飛膜を使って滑空します。

植物食の傾向が強く、主に広葉樹の葉・芽・花・種子などを食べますが、昆虫などの動物質のものを食べることもあります。貯食や冬眠をしない代わりに秋のうちに脂肪を蓄えて、冬は冬芽や花穂を食べて活動を最小限にとどめて冬を乗り越えます。

## 感想

エゾモモンガが冬眠しないと知り、秋に脂肪をたくわえて、冬を乗り越えるんだなと思いました。



おまけ

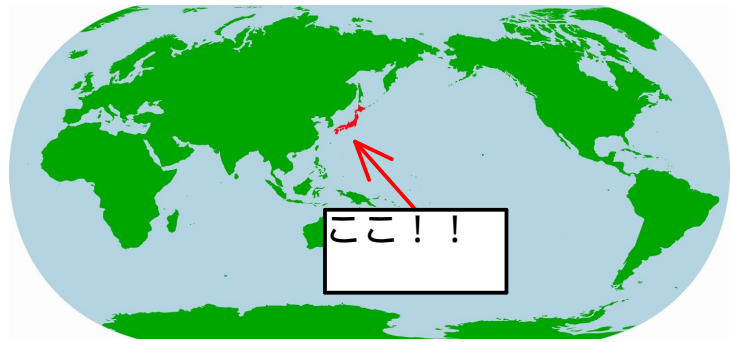
# 動物の辞書

1m~2m  
でかい！！

学名 Elaphe climacophora  
英名 Japanese Rat Snake  
分類 は虫綱 有鱗目 ヘビ亜目 ヘビ科



サイズ 体長：1~2m  
体重：400~600g  
寿命 約20年  
生息地は・・・



日本です。

ヘビは、暴れ回ったり噛んだら毒が注入されるイメージだったので、大人しい性格と知って勉強になって良かったです。

## 性格

アオダイショウは無毒で大人しいヘビです。ただ、人が不用意にちょっかいを出したりするとアオダイショウは身を守ろうと攻撃的になる場合があります。かまれても毒はありませんが、野生生物の細菌やウイルスによる感染症の恐れがあるので注意が必要です。

でも  
かまれても  
毒は  
ないよ！！



へえ～  
細菌やウイルスによる感染症の恐れがあるのか～





## ベニイロフラミンゴ

生息地 南アメリカ

### 動物の解説

分類 鳥綱フラミンゴ目フラミンゴ科

サイズ 全長：約130cm

体重：約3.5kg

寿命 約30年

### ベニイロフラミンゴの解説

塩湖（えんこ）やアルカリ性の湖といった特殊な環境に適しており、数千羽から百万羽にもなるの巨大な群れを形成します。くちばしは、「へ」の字をしており、水中のラン藻類や小動物をこしとって食べます。

くちばしは非常に濃いピンクで、全身が鮮やかな紅色をしていてとてもきれいです。日光に当たると、その紅色がもっと鮮やかに見えきれいです。

## イワトビペンギン

### 動物の解説

学名 *Eudyptes chrysocome*

英名 Rockhopper Penguin

分類 鳥綱ペンギン目ペンギン科

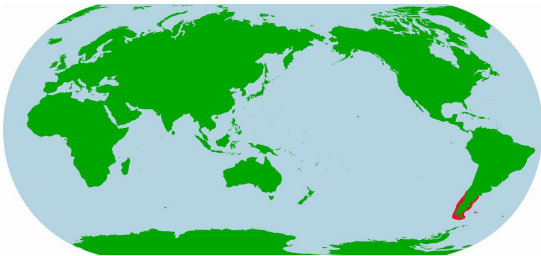


サイズ 体長：45～58cm

体重：2.5～3.5kg

寿命 約20年

生息地



フォークランド諸島・チリ南部・アルゼンチン南部の島々

### 説明

地上では、他のペンギンのようによちよちと歩きますが、急ぐ時は両足をそろえて飛び跳ねながら移動します。成鳥の目の上には”まゆ”のような黄色の羽があるのが大きな特徴です。また、目とくちばしが赤く、足はピンク色をしているのも特徴です。ペンギン館で飼育している4種類のペンギンの中では、一番小型です。

寒いところは少し苦手なイワトビペンギン。日差しが強いときは、外に出てきて日なたぼっこをよくしています。また夏には、両足をそろえてピョンピョン跳びながら、岩を登っていき、ペンギン館の上までいって日なたぼっこをしている様子も見られます。

### 感想

イワトビペンギンは、目の上にまゆ毛みたいな物がありました。

## えぞうさぎ

学名Lepus timidus ainu

英名Mountain Hare

分類ほ乳綱ウサギ目ウサギ科

サイズ頭胴長：50～58cm

体重：2.0～3.9kg

寿命約10年



## 生息地



## 説明

冬には真っ白な毛になり、夏は茶色の毛になります。夏毛の時期にはふつう夜だけ活動し、冬毛の時期は、エサが少ないため、昼間も採食活動をし、雪に埋もれた植物を掘り出したり、木の枝や芽をかじったりします。また、かんじきのような大きな足で、やわらかい新雪の上でも潜らずに駆け回ることができます。足の裏には密生した毛があり、すべり止めにもなっています。

動きはとても素早く、常に警戒しています。日中は見えないところに隠れていることが多いです。

## 感想

えぞうさぎは、ふゆは、真っ白だけど夏は、茶色のけになるとは、思ってもいなかったのがびっくりしました。



## エゾリスの説明

学名 *Sciurus vulgaris orientis*

英名 Hokkaido Squirrel

分類 ほ乳綱 げっ歯(ネズミ)目 リス科

サイズ 頭胴長：22～23cm

体重：300～470g

寿命 約2～3年 旭山動物園では16年の長寿記録がある

展示場所 北海道産動物舎 北海道



小動物コーナ



### 生息地

北海道の森林にのみ分布し、農家周辺や公園の林でも見られるため、よく知られた動物です。四肢の指には、長いかぎ爪があり、木の幹を上下左右に移動できます。また、ふさふさした毛が生えた長い尾は、樹上で移動する際にバランスをとるのに役立っています。また、夏毛・冬毛の違いもあり、季節を感じられる動物です。

旭山動物園では、檻や木を上下左右に動き回る姿が見られます。その動きはとてもすばしっこく、目で追いかけるのも大変です。姿が見えないときは、巣箱の中で休んでいることが多いです。

### 感想

ふさふさした毛が生えた長い尾は樹上で移動する時にバランスをとるのに役立っているのだということがはじめて思った！

## 動物の解説

学名 Canis lupus ssp.

英名 Timber Wolf

分類 ほ乳綱 食肉(ネコ)目 イヌ科

サイズ 体長：100～150cm

尾長：30～50cm

体重：25～45kg

寿命 約15年



## 説明

毛の色は、灰褐色から白っぽいものまでいます。現在当園で飼育しているシンリンオオカミも灰褐色と白っぽい毛の個体があります。

オオカミは、群れ(パック)を作り、群れは雌雄別の順位制を伴っており、最上位雌雄がペアとなります。通常群れは、雌雄のペアとその子どもたちで構成されます。繁殖して生まれた赤ちゃんは、群れの子どもたちも協力して赤ちゃんを育てていきます。

オオカミの森では、オオカミたちが走り回る様子であったり、水浴びをしている様子、そして木陰で休む様子など様々な角度から観察することができます。オオカミの森に入ったら、まずどこにオオカミがいるのか探してみてください！



## 感想

しんりんおおかみはみずあそびをする事を初めて知りました。

## ゴマアザラシ

### 動物の解説

学名 *Phoca largha*

英名 Spotted Seal

分類 ほ乳綱食肉（ネコ）目

アザラシ科

サイズ 体長：160～170cm

体重：約100kg

寿命 25～30年

展示場所 あざらし館



銀灰色の体に黒と白のゴマ模様が点々としているのが特徴です。流氷と共に、オホーツク海を南下し北海道にやってきて、流氷の上で出産します。流氷が去る3月ぐらいに北へ帰ります。あざらし館では、アザラシたちが気持ちよく泳ぐ姿を、水中から見るができます。好奇心がとても強いので、マリンウェイ（円柱水槽）を通るときは、いろいろなものを見ながら泳いでいます。アザラシたちが泳いでいるときの目に注目です！ひょっとしたらみなさんを見ているかもしれませんよ。

### 感想

ふわふわした子もいれば、つるつるした子もいる。  
一人ひとり色が違う。





体長は60～95cm、  
体重は1.5～10.5kgほど  
元々はカナダ南部からアメリカと、メキシコに生息していました。



前肢が発達した動物で、リスのように物を持つことができるほか、手のひらを反すような仕草までできます。体の全長に対して長くなっていて、30cmほど先にあるものでも手を伸ばして取ることができます

この器用で発達した前肢を使って、食べ物を洗うような姿が名前の由来にまでなっていますが、実は餌を綺麗にするために水の中に手を入れているのではなく、水辺にいる魚やザリガニを捕っているからだと考えられてきました。

しかし2009年に京都大学の調査で、アライグマはアカハライモリなどの毒を持つ生物を捕まえた際に、臭いで毒があるか判断し、その後10分以上も獲物をこすり続けて毒を落としてから食べていることが確認されました。

1977年にアニメ「あらいぐまラスカル」が放映されたことをきっかけに、日本国内で人気急上昇。ペット業者はアメリカから大量に輸入をするようになりました。4～5万円と比較的安価な値段で販売されたことも手伝い、飛ぶように売れていったそうです。

しかし、幼体の時のぬいぐるみのような可愛さとは裏腹に、性格は凶暴。飼い主のことさえためらわずに噛むことがあります。その反面で幼体の時から飼育をするとべったり懐くので、何かのはずみで突然機嫌を損ねたときに血が出るほど攻撃され、はっきり言ってまったくつかない動物より手に負えません。

# シロフクロウ

## 動物の解説

学名 *Nyctea scandiaca*

英名 Snowy Owl

分類鳥綱フクロウ目フクロウ科

サイズ体長：53～66cm

体重：1.3～2.0kg

寿命約25年

展示場所 [シロフクロウ舎](#)



《感想》楽しかった。

# キタキツネの自然

解説

学名 *Vulpes vulpes schrecki*

英名 Red Fox

分類ほ乳綱 ネコ目 イヌ科



サイズ頭胴長：60～80cm

体重：2.5～10kg

寿命約 6～7 年

展示場所 [北海道産動物舎](#)

生息地 北海道 樺太 青森県

食物・ネズミ・鳥類・昆虫・エゾシマリス・エゾユキウサギ・果実・木の実

生態 哺乳類の中では珍しくオスも子育てをし、雪解けが終わり、暖かくなるころに子供

を産み、秋の終わりごろに子別れをする。感想 犬と同じような体のキタキツ

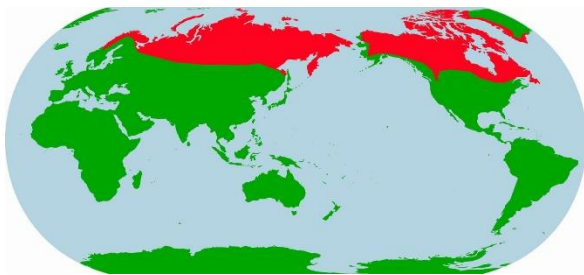
ネですが、ここまで何でも食べるならどこでも生きていけると思いました。

# トナカイ

## 動物の解説

学名 *Rangifer tarandus*  
英名 Reindeer  
分類ほ乳綱 偶蹄 (ウシ) 目 シカ科  
サイズ肩高：94～127cm  
体重：91～272kg  
寿命約 15 年  
展示場所トナカイ舎

生息地



北極圏・亜北極

シカの仲間の中で、最も北に生息し、年間 10 ヶ月も地面が露出しない過酷な地域でも生活ができます。古くから家畜化され、極北の遊牧民にとって、なくてはならない存在です。

トナカイはシカの仲間の中で唯一、オスにもメスにも角があります。角が落ちる時期はオスが早く落ちます。

鼻の皮フは露出していなく、毛でおおわれています。トナカイが間近にきたときに観察してみてください。

歩く時には「カチッカチツ」といった音を立てながら歩きます。耳を澄まして聞いてみてください。

感想

寿命が意外と短いことが分かった。

最高で体重が 250kg を超えることを知って吃驚しました。





# エゾモモンガ

## 動物の解説

学名 *Pteromys volans orii*

英名 Eurasian Flying Squirrel

分類齧歯（ネズミ）目リス科

サイズ頭胴長：15～16cm

尾長：10～12cm

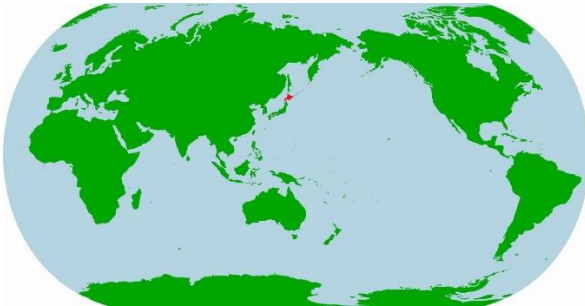
体重：100～120g

寿命約 4～5 年（飼育下）

展示場所 [北海道小動物コーナー](#)



## 生息地



平地から山地の森林に生息し、活動時間は夜です。樹上で生活し、飛膜を使って滑空します。

植物食の傾向が強く、主に広葉樹の葉・芽・花・種子などを食べますが、昆虫などの動物質のものを食べることもあります。貯食や冬眠をしない代わりに秋のうちに脂肪を蓄えて、冬は冬芽や花穂を食べて活動を最小限にとどめて冬を乗り越えます。

## 感想

えぞももんがは可愛いからさわってもかわいいかも

エゾモモンガのなきごえは高く「きーきー、きーきーきー」とかしかきけないなきごえです

エゾモモンガの巣は森の木みたいなところの木の中にある



# ゴマフアザラシ

## 動物の解説

学名 Phoca largha

英名 Spotted Seal

分類ほ乳綱 食肉（ネコ）目 アザラシ科

サイズ体長：160～170cm

体重：約 100kg

寿命 25～30 年



## 生息地

オホーツク海、ベーリング海、北海道近海



銀灰色の体に黒と白のゴマ模様が点々としているのが特徴です。流氷と共に、オホーツク海を南下し北海道にやってきて、流氷の上で出産します。流氷が去る 3 月ぐらいに北へ帰ります。

あざらし館では、アザラシたちが気持ちよく泳ぐ姿を、水中から見るすることができます。好奇心がとても強いので、マリンウェイ（円柱水槽）を通るときは、いろいろなものを見ながら泳いでいます。アザラシたちが泳いでいるときの目に注目です！ひょっとしたらみなさんを見ているかもしれません

### 感想

アザラシたちの体重が 100 kgあるとは思いませんでした。それにアザラシが泳いでいるときにこっちを見ているかもしれないのは初めて知りました。なのでもしもアザラシのしょうがあったら見てみたいと思いました。

# アムールトラ

## 動物の解説

学名 *Panthera tigris altaica*

英名 Amur Tiger

分類ほ乳綱 食肉(ネコ)目 ネコ科

サイズ体長：240～270cm

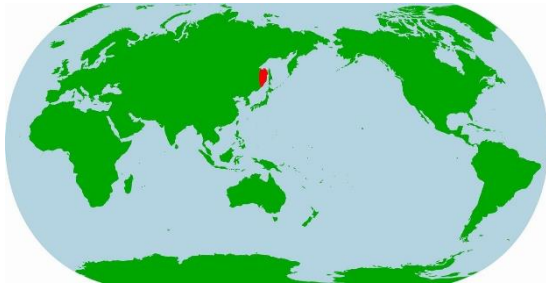
尾長：100～120cm

体重：100～300kg

寿命 15～20年

展示場所もうじゅう館

## 生息地



## アムール川・ウスリー河流域

アムールトラは、トラの仲間でもっとも寒い地方にすみ、もっとも大きいトラになります。このような模様が美しく、大きなアムールトラは、自然破壊のために絶滅寸前であり、現在約400頭程しか野生ではいません。近年、保護活動が進み、徐々にですが、回復傾向にあります。

アムールトラのしま模様は、自分の体を隠すための模様です。あのきれいな模様は目立つと思われそうですが、実は、周りの草にまぎれてしまい、どこにいるかわからなくなります。旭山動物園でも夏になると、背の高い草が生えるので、ぜひしま模様の役割を体感してください。

## 感想

アムールトラなどトラの仲間は、一見こわいイメージがありますが、実は雪に大はしゃぎするなどかわいいところがたくさんあります！ぜひ見てみて下さい！



## エゾヒグマ

エゾヒグマは北海道で今生息している。  
そして、エゾヒグマがいま、抱えている大変な  
事は。

<エゾヒグマの問題>

エゾヒグマの生息地が**縮小**していることと。

環境が悪化しているということです。エゾヒグマ

は今住む場所がなくなっているのです。

<問題を解決するためには>

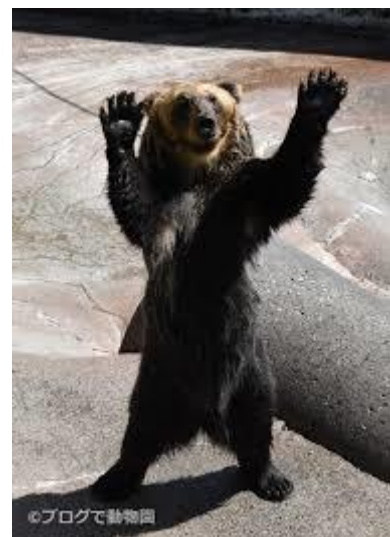
まず、エゾヒグマの住む環境を作らなければならないということです。

作るためには人間が動物を大切にしなければならないということです。

<感想>

個人的に熊全般が好きなので僕も協力をしたいと思った。

そして、エゾヒグマを選んだ理由はすごくかわいい熊だと思いました。





# ユキヒョウ

学名 *Panthera uncia*

英名 Snow Leopard

分類ほ乳綱 食肉（ネコ）目

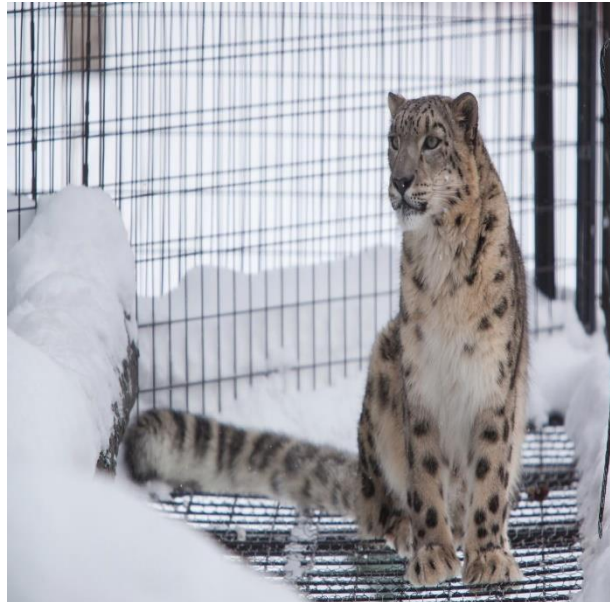
サイズ体長：100～150cm

尾長：80～100cm

体重：35～55kg

寿命約 15 年

展示場所 [もうじゅう館](#)



生息地

寒冷地に適したヒョウの仲間です。足の裏も毛でおおわれていて、雪や岩の上を移動するのに適しています。また、尾は太く、頭から胴体の長さほどあります。走る時にバランスをとったり、横たわった時に、体に巻きつけて寒さから身を守ります。

ユキヒョウの岩をかけあがる動きは見事です。そして、みなさんの頭の上でくつろぐ姿も見られ、そのときの足の裏も観察できます。肉球はもちろん、足の裏にも毛が生えていることが実感できます。

感想

ユキヒョウは、赤ちゃんのころは、とても可愛く猫みたいな顔をしていますが大人に、なったら顔がとても怖くなります。

## 動物の解説

## ユキヒョウ

分類ほ乳綱 食肉（ネコ）目 ネコ科

サイズ体長：100～150cm

尾長：80～100cm

体重：35～55kg

寿命約 15 年

展示場所 [もうじゅう館](#)

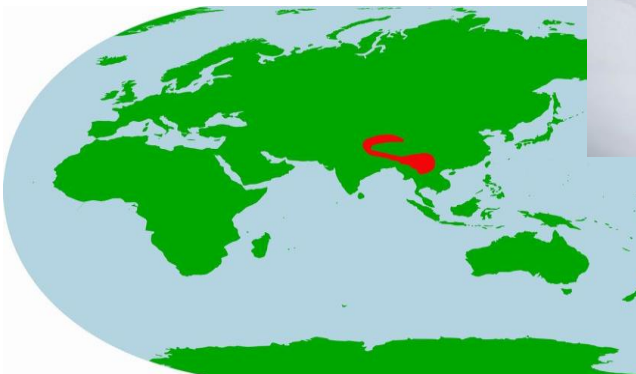
寒冷地に適したヒョウの仲間です。足の裏も毛でおおわれていて、雪や岩の上を移動するのに適しています。また、尾は太く、頭から胴体の長さほどあります。走る時にバランスをとったり、横たわった時に、体に巻きつけて寒さから身を守ります。

ユキヒョウの岩を駆けあがる動きは見事です。そして、みなさんの頭の上でくつろぐ姿も見られ、そのときの足の裏も観察できます。肉球はもちろん、足の裏にも毛が生えていることが実感できます。

寒冷地に適したヒョウの仲間です。足の裏も毛でおおわれていて、雪や岩の上を移動するのに適しています。また、尾は太く、頭から胴体の長さほどあります。走る時にバランスをとったり、横たわった時に、体に巻きつけて寒さから身を守ります。

ユキヒョウの岩を駆けあがる動きは見事です。そして、みなさんの頭の上でくつろぐ姿も見られ、そのときの足の裏も観察できます。肉球はもちろん、足の裏にも毛が生えていることが実感できます。

## 生息地



### 感想

この写真を見るとまるでねこのような体制でカワイイです。

# アライグマ

学名 *Procyon lotor*

英名 Common Raccoon

分類ほ乳綱 食肉（ネコ）目 アライグマ科

サイズ体長：約 55cm

尾長：約 25cm

体重：5.0～8.0kg

寿命約 10 年

展示場所北海道産動物舎



## 生息地



灰褐色の体毛をもち、目のまわりから頬にかけて黒い帯状の斑紋があります。長いふさふさとした尾には黒い横じまがあります。アライグマは北アメリカ原産で、日本には生息していませんでした。しかし、近年ペットとして飼われていたアライグマが捨てられたり、逃亡したものが野生化しはじめ、個体数が増加し、農作物被害や野生在来種への脅威が増大しています。

## 感想

アライグマは日本に生息していたと思っていたのでびっくりしました。